

- 地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを利活用した取組を検討する地方公共団体等からの求めに応じ、ICTの知見等を有する「地域情報化アドバイザー」を派遣し、ICT利活用に関する助言等を行う。
- 地域IoT実装推進ロードマップ(平成29年5月25日改定)の10分野を重点分野とし、これに合致しているものを優先。

- 公募申請は年数回程度を想定。
- 同一地域の同一プロジェクトに対する同一アドバイザーの派遣は原則年1回。派遣日数は最大で、1日あたり7時間×3日間。

派遣の仕組み



派遣分野の重点化



(参考) 地域情報化アドバイザーの派遣パターン

地域情報化アドバイザーの派遣に当たっては、以下のようなパターンが考えられる。
(今年度より同一地域の同一プロジェクトに対する同一アドバイザーの派遣は原則1回に変更)

アドバイザー派遣のスケジュール例

- ① 1日 (午前:講演 午後:個別業務相談)

国費

最大1日7時間まで

★
1日目

- ② 1日目:講演
2日目:職員研修
3日目:個別業務相談

最大3日間まで

国費

★ 1日目 ★ 2日目 ★ 3日目



内閣官房オープンデータ伝道師・シェアリングエコノミー伝道師との連携

- ① 県でオープンデータ等について講義

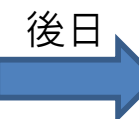
- ② 更なる個別支援を希望する市にアドバイザーとして派遣



伝道師
兼
アドバイザーA氏



国費
伝道師



後日



国費
アドバイザー

※伝道師は原則地域情報化アドバイザーにも委嘱予定であり、それぞれの制度に基づく派遣が可能

同一地域の同一プロジェクトに対して異なるアドバイザーを派遣するもの

アドバイザーA氏
(計画策定)



国費

★
1回目

自治体負担

★
2回目

★
3回目

アドバイザーB氏
(システム構築)



国費

★
1回目

自治体負担

★
2回目

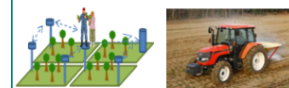
同一地域の異なるプロジェクトに対して同じアドバイザーを派遣するもの



アドバイザーA氏

農林水産業

スマート農業・林業・漁業モデル



国費

★
1回目

自治体負担

★
2回目

★
3回目

医療・介護・健康



国費

★
1回目

自治体負担

★
2回目